

道 東 自 動 車 道
本流鷗川第一橋（鋼上部工）工事

割 掛 対 象 参 考 内 訳 書

- ・割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和8年10月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所

割掛対象参考内訳書1 / 4

【共通仮設費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
工事中機械分解組立費A (鋼橋の架設(Ⅰ)、(Ⅳ)、 (Ⅵ):クレーン架設)	重建設機械の分解、組立、 輸送及び運搬時の損料また は賃料に要する費用をいう。	【工事中機械分解、組立、運搬】 ○基地(札幌市)から現場 運搬距離:約138km(片道) ・本流鵲川第一橋 クローラークレーン 350t:1 台-1往復 (桁架設、ベント杭設置・撤去) トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立) ・本流鵲川第四橋 クローラークレーン 200t:1 台-1 往復 (桁架設、ベント杭設置・撤去) トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立) ・占冠PAアクセス路橋 クローラークレーン 350t:1 台-1 往復(桁架設) トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立) ○現場内移動 ・本流鵲川第一橋 クローラークレーン 350t:1回(A2⇒A1) トラッククレーン 100t:1 回(A2⇒A1) ・本流鵲川第四橋 トラッククレーン 100t:1 回(A1⇒A2)	—
工事中機械分解組立費B (鋼橋の架設(Ⅱ)、(Ⅲ)、 (Ⅴ):送り出し架設)	重建設機械の分解、組立、 輸送及び運搬時の損料また は賃料に要する費用をいう。	【工事中機械分解、組立、運搬】 ○基地(札幌市)から現場 運搬距離:約138 km(片道) ・本流鵲川第二橋 トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立) ・本流鵲川第三橋 トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立) ・占冠PAランプ橋 トラッククレーン 100t:1 台-1 往復(桁組立)	—
仮設材等運搬費	仮設材等(仮橋、鋼矢板、H 形鋼、覆工板等)の運搬に要 する費用をいう。	【仮設材等運搬】 ・本流鵲川第一橋 B2 ベント下部工・基礎工 受桁 H350-3.51t、杭材 H300-8.64t、繋ぎ材 C200- 2.30t、綾構 L100-1.27t、その他-0.32t B3 ベント下部工・基礎工 受桁 H350-4.05t、杭材 H300-8.10t、繋ぎ材 C200- 2.55t、綾構 L100-1.38t、その他-0.32t ・本流鵲川第四橋 B2 ベント下部工・基礎工 受桁 H350-2.97t、杭材 H300-8.10t、繋ぎ材 C200- 1.88t、綾構 L100-1.96t、その他-0.23t	○
地質調査費	平板載荷試験に要する費用 をいう。	【平板載荷試験】 ・本流鵲川第一橋 左岸側 1 箇所 右岸側 2 箇所 B1、B4 ベント 2 箇所 ・本流鵲川第二橋 左岸側 1 箇所 右岸側 1 箇所 ・本流鵲川第三橋 左岸側 1 箇所 右岸側 1 箇所 ・本流鵲川第四橋 左岸側 1 箇所 右岸側 2 箇所 B1、B3、B4 ベント 3 箇所 ・占冠PAランプ橋 左岸側 1 箇所 右岸側 1 箇所 ・占冠PAアクセス路橋 右岸側 2 箇所 B1 ベント 1 箇所	—

割掛対象参考内訳書2 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
現場溶接部検査費	鋼桁等の現場溶接部非破壊検査に超音波探傷試験を用いる場合の試験機械の性能確認試験、施工性試験、外観試験、超音波探傷試験、報告書作成に要する費用をいう。	【現場溶接部検査】 ・本流鵠川第一橋 溶接延長:129.7m 平均板厚(加重平均) 21 mm ・本流鵠川第二橋 溶接延長:64.5m 平均板厚(加重平均) 18 mm ・本流鵠川第三橋 溶接延長:64.5m 平均板厚(加重平均) 19 mm ・本流鵠川第四橋 溶接延長:87.4m 平均板厚(加重平均) 22 mm ・占冠PAランプ橋 溶接延長:55.7m 平均板厚(加重平均) 16 mm ・占冠PAアクセス路橋 溶接延長:48.8m 平均板厚(加重平均) 15 mm	—
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	【コンクリート非破壊試験】 ・本流鵠川第一橋(上部工) 上向き作業 12 箇所 下向き作業 12 箇所 側面作業 56 箇所 ・本流鵠川第二橋(上部工) 上向き作業 9 箇所 下向き作業 9 箇所 側面作業 44 箇所 ・本流鵠川第三橋(上部工) 上向き作業 9 箇所 下向き作業 9 箇所 側面作業 44 箇所 ・本流鵠川第四橋(上部工) 上向き作業 12 箇所 下向き作業 12 箇所 側面作業 56 箇所 ・占冠PAランプ橋(上部工) 上向き作業 9 箇所 下向き作業 9 箇所 側面作業 44 箇所 (後打ちバラペット) 側面作業 8 箇所 ・占冠PAアクセス路橋(上部工) 上向き作業 9 箇所 下向き作業 9 箇所 側面作業 44 箇所	—

【仮設設備費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
足場工費 (PAランプ橋下部工)	一般構造物の施工または橋梁下部工補修に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・占冠PAランプ橋 A1,A2 橋台 V=400.2 空m ³ (施工高さ 10m未満)	—
支保工費 (PAランプ橋下部工)	コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	【くさび結合支保工】 ・占冠PAランプ橋 A1,A2 橋台 V=8.0 空m ³ 載荷荷重 0.0～2.0t/m ² 未満、存置日数:55 日	—
PC鋼材機械器具費	PC鋼材引張の作業に使用する機械器具に要する費用をいう。	【PC鋼材機械器具費】 ・本流鵠川第一橋:1 式 ・本流鵠川第二橋:1 式 ・本流鵠川第三橋:1 式 ・本流鵠川第四橋:1 式 ・占冠PAランプ橋:1 式 ・占冠PAアクセス路橋:1 式	—

割掛対象参考内訳書3 / 4

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
吊足場工費 (標準型側面)	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面(側面足場に防護が無い構造)の吊足場工に要する費用をいう。	【システム吊足場】 ・本流鵠川第一橋 シート張防護工(底面、側面)有り:731.1 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:855.0 m ² 架設足場ー必要期間 1.0 ヶ月 床版足場ー必要期間 3.4 ヶ月 ・本流鵠川第二橋 シート張防護工(底面、側面)有り:599.2 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:353.1 m ² 架設足場ー必要期間 0.2 ヶ月 床版足場ー必要期間 2.2 ヶ月 ・本流鵠川第三橋 シート張防護工(底面、側面)有り:556.6 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:461.2 m ² 架設足場ー必要期間 0.2 ヶ月 床版足場ー必要期間 3.3 ヶ月 ・本流鵠川第四橋 シート張防護工(底面、側面)有り:834.9 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:238.7 m ² 架設足場ー必要期間 0.6 ヶ月 床版足場ー必要期間 3.9 ヶ月 ・占冠PAランプ橋 シート張防護工(底面、側面)有り:332.5 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:242.7 m ² 架設足場ー必要期間 0.1 ヶ月 床版足場ー必要期間 1.4 ヶ月 ・占冠PAアクセス路橋 シート張防護工(底面、側面)有り:338.4 m ² 、 シート張防護工(底面、側面)無し:313.6 m ² 架設足場ー必要期間 0.1 ヶ月 床版足場ー必要期間 2.3 ヶ月	○
吊足場工費 (防護型側面)	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面(側面足場に防護がある構造)の吊足場工に要する費用をいう。	【システム吊足場＋シート張り防護(底面、側面)】 ・本流鵠川第四橋 シート張防護工(底面、側面)有り:152.9 m ² 架設足場ー必要期間 0.6 ヶ月 床版足場ー必要期間 3.9 ヶ月	○
橋梁上部工昇降足場費	橋梁上部工への昇降に必要な昇降足場に要する費用をいう。	【上部工昇降足場】 ・本流鵠川第一橋:37.6 空m ³ 、必要期間 12.2 ヶ月 ・本流鵠川第二橋:35.4 空m ³ 、必要期間 9.5 ヶ月 ・本流鵠川第三橋:31.5 空m ³ 、必要期間 9.0 ヶ月 ・本流鵠川第四橋:42.3 空m ³ 、必要期間 4.5 ヶ月 ・占冠PAランプ橋:23.8 空m ³ 、必要期間 8.1 ヶ月 ・占冠PAアクセス路橋:14.3 空m ³ 、必要期間 8.0 ヶ月 (施工高さ 10m未満)	－
横桁設置足場工費	橋梁の横桁設置に必要な安全通路及び部分作業床に要する費用をいう。	【主桁安全通路、中間横桁用部分作業床】 ・占冠 PA アクセス路橋 18 箇所、必要期間 1.7 ヶ月	○

割掛対象参考内訳書4 / 4

【雑工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
橋面養生費	床版コンクリートの打設後のコンクリートの養生に要する費用をいう。	【打設用歩み板、養生マット等】 ・本流鵲川第一橋 : 1,482.4 m ² ・本流鵲川第二橋 : 873.1 m ² ・本流鵲川第三橋 : 939.0 m ² ・本流鵲川第四橋 : 1,127.3 m ² ・占冠PAランプ橋 : 498.2 m ² ・占冠PAアクセス路橋: 570.5 m ²	—
床版打継目型わく費	床版コンクリート打継目の型わくに要する費用をいう。	【打継目型わく】 ・本流鵲川第一橋: 18.4 m ² ・本流鵲川第二橋: 15.3 m ² ・本流鵲川第三橋: 16.4 m ² ・本流鵲川第四橋: 15.7 m ² ・占冠PAランプ橋: 8.6 m ² ・占冠PAアクセス路橋: 10.0 m ²	—
壁高欄目地板費	壁高欄の縁切りを行うために設ける目地板に要する費用をいう。	【目地板 t=10mm】 ・本流鵲川第一橋: 0.4 m ² ・本流鵲川第二橋: 0.4 m ² ・本流鵲川第三橋: 0.4 m ² ・本流鵲川第四橋: 0.4 m ² ・占冠PAランプ橋: 0.4 m ² ・占冠PAアクセス路橋: 0.4 m ²	—
壁高欄目地シーリング費	壁高欄の目地(Vカット目地・伸縮目地)のシーリング材設置に要する費用をいう。	【シリコン系シーリング材】 ・本流鵲川第一橋: 95.6m ・本流鵲川第二橋: 75.8m ・本流鵲川第三橋: 72.4m ・本流鵲川第四橋: 92.2m ・占冠PAランプ橋: 69.2m ・占冠PAアクセス路橋: 78.6m	—
安全性向上費	クレーン作業時における高速道路の利用者に対する安全性向上に要する費用をいう。	【レーザーバリアシステム等による監視装置】 ・本流鵲川第一橋: 必要期間 0.6 ヶ月 ・本流鵲川第二橋: 必要期間 3.5 ヶ月 ・本流鵲川第三橋: 必要期間 3.5 ヶ月 ・本流鵲川第四橋: 必要期間 0.5 ヶ月	—
ベント・鉄塔基礎工費	鋼橋仮設用ベント及び鉄塔の基礎に要する費用をいう。	【ベント基礎工】 ・本流鵲川第一橋(B2 ベント、B3 ベント) 工法: ダウンザホールハンマ工法+砂充填 部材名: H-300×300×10×15 数量: 16 本 ・本流鵲川第四橋(B2 ベント) 工法: ダウンザホールハンマ工法+砂充填 部材名: H-300×300×10×15 数量: 6 本	○